

AmiVoice® Ex7 Rehab 導入事例

付属のヘッドセットマイクで、経過記録書(プログレスノート)の入力で使用しています。

飯塚病院
診療科 リハビリテーション科
所在地 福岡県飯塚市
導入時期 2012年3月

Before

・経過記録書の入力を毎日遅くまで行っていました。

After

・リハビリ関連専門用語も認識でき入力業務は改善されました。

Q. 当ソフトを活用したきっかけについて教えてください。

現在、当科では急性期入院中の一助となるよう、365日リハ提供を目指し、総勢92名(※1)のスタッフで業務を行っています。

多くのスタッフが、リハビリ訓練終了後に、経過記録書(プログレスノート)の入力を毎日遅くまで行っている状態です。

何とか業務環境の改善と思い、試行錯誤している中、音声入力を紹介されました。

紹介された際は懐疑的でしたが、評価した瞬間に「これは使えるかも?」と直観しました。

ただし、評価したのは、電子カルテ用音声入力ソフトであったため、私達が普段使用するリハビリ関連専門用語不足やハンドマイクの運用に違和感を感じたのも事実でした。

後日、アドバンス・メディア社よりリハビリ関連専門用語を搭載した商品開発協力依頼があり、私たちの力が同じような課題を抱えている多くのリハビリテーション領域の業務に役に立つことができればとの思いから、アドバンス・メディア社と開発をともに行いました。

Q. 実際に使用されていかかでしたか?

徐々に良くなる「アミボイス」を実感しながら、完成版を評価した際には、まさしく「これだ!」という満足感がこみ上げてきました。今現在、入力業務も改善されました。

Q. 今後、製品に期待する機能などについて教えてください。

リアルタイム且つフリーハンド入力環境の実現とツールとしてスマートフォンやタブレットを活用した新しい形に挑戦していきます。さらなる業務改善に繋がることでしょう。

※1

リハビリテーション専門医1名 理学療法士(PT)59名 作業療法士(OT)18名 言語聴覚士(ST)8名 診療所・クラーク6名

